

# 森の風の記憶

Presented by 諸塚村観光協会「まちむら応縁倶楽部」

## 諸塚の四季 Vol.1 風の人と土の人をつなげるもの

通刊第26号

平成19年10月31日発行

目次:

やま学校日記	2
諸塚を食べる	4
NEWS	5
イベント案内	6

この通信誌は、ご希望の方はメールでもお届けできます。下記にご連絡ください。

全村森林公園 諸塚  
百彩の森づくり

# 諸塚村

宮崎県東臼杵郡諸塚村大字家代3068  
しいたけの館21内諸塚村観光協会  
0982-65-0178  
Fax 0982-65-0189

先日、周辺5町村の広域観光協議会の会議に出席しました。隣町は、「高千穂」をアピールする知事の宣伝効果で、入り込み観光客が倍増しているとのこと。ただし、テレビで取り上げられると、その直後にそこに集中する傾向があり、キャパシティオーバーでクレームもどっと出ているらしい。

知事効果を言われますが、私の知る限りでは「マンゴー」「地鶏」などに一部に集中しているようです。観光地では「高千穂」ですが、テレビに出るほんの一部の場所に過剰な人が押し寄せ、「テレビに出ていた が食べたい」「 はないのか」と要求するそうで、当然それに対応できるほど生産できるものではなく、クレームになります。一方、すぐ横のスポットは閑古鳥。

冷静に考えたら、そこに来的ためには、多くの観光スポットを通るはずで、メディアからの情報をコーディネートするシステムの不足を感じます。急で大量なニーズに対応するには、田舎は資本も人材も資源も不足しています。経済効果はともかく、事情もわからない中で生じるクレームは、何も産まない気がする。

地元学では地元の人を「土の人」、観光客を「風の人」として、双方の交流を重視しています。一方通行のメディアを超えて、土の人と風の人をつなげ、本物を守りながら少人数でそっと来れる場所や、少ないけれど旬な味覚を提供するシステムを模索したい。微力ですがそれが弊誌の目標です！（矢）



究極の旬の味覚？ハチソーメン

## 10月の出来事

- 10月6～7日 第51回諸塚村木材産地ツアー
- 10月10～12日 森のエコスクール～宮崎市住吉南小
- 10月17～19日 森のエコスクール～延岡市恒富小
- 10月20～21日 第52回諸塚村木材産地ツアー
- 10月27～28日 第77回エコツアー「諸塚村でやま学校しよう！」
- 10月28日 第9回黒岳もみじ祭

HP <http://www.vill.morotsuka.miyazaki.jp>  
e-mail [ecom@vill.morotsuka.miyazaki.jp](mailto:ecom@vill.morotsuka.miyazaki.jp)

## やま学校日記

「森のエコスクール」宮崎市住吉南小学校  
平成19年10月10日(水)～12日(金)

小学5年生と先生・保護者総勢80数名が初日に木材加工センターを見学した後、3つに分かれました。やましぎ班(松村)、飯干班(伊藤)、セツ山班(矢房)にそれぞれわかれ、私(木村)は飯干班に同行しました。地元世話人の「こまめ倶楽部」3名が先生となり、保護者も参加しての郷土料理教室。子供達もエプロンや三角布、マスクをつけ準備万端。中にはエプロンのつけ方がわからず教わる男の子も。慣れない手つきながらもみんな笑いながらわいわい作って、食べる頃にはお腹がすいたのか女の子もおかわりに並んでいました。

いまどきのこどもの潜在能力は高い!

2日目は公民館館長や寿会の方が案内しての自然の宝探し。25人を1グループ5人ずつの5班(活動班)にわけ、それぞれ違う所に行きました。植物や動物にキャーキャー言いながら、大人であればただらと歩いてしまいそうなところを子供達は「あっ、蜂じゃ」と見つけては我先に走って、いろんな宝物を見つけていました。ここで驚いたのは、大人でも普通知らない植物の名前を知っていたり、学校では習っていないのに笹舟を一人で上手に作れたりする子がいたことです。都会的であろう普段の生活とギャップを感じました。書物やネットでの机の上での知識は豊かななだけに、本物と接する機会さえあれば、本領を発揮する今どきの子どもの、潜在能力をの高さを発見しました。

午後には、井戸地区にある高冷地野菜生産団地に行き、ほうれん草やトマトの収穫を体験しました。その日の夕食に使用したのですが、残念なことにトマトをお土産にと思っていたら、せっかく採ったのに「いらない」という子もいました。ものを大事にすることを学ぶ場でもあり、持って帰る分と食べる分だけ採るように指導すべきだったと反省しました。



3日目、さすがに疲れたかなと思いきや、相変わらず朝食から元気いっぱい。逆に先生や保護者の方がお疲れ?のようで...。この日はみんな合流し、諸塚村畜産センターで牛の世話をしました。子供たちは牛を怖がりながらも楽しそうに餌を与えたり、ブラッシングしたりと2時間があっという間でした。

昼食は体育館に移動して食べ、その後各3班の代表さんがマップの発表を行いました。

今回は、学校が体験に即した形で活動班と生活班を編制していて、班長をはじめ一人一役は必ずあり、挨拶もみな分担し、事前に諸塚のことを勉強してきたようでとても心のこもった挨拶ばかりでした。私も、最後の終了式では涙しそうなくらいでした。(陽)

涙しそうなくらいでした！



たまる えつこ 諸塚村婦人連絡協議会会長  
 地域のお母さん達の集まりである婦人会の諸塚村全体の会長さんです。ご自宅は諸塚唯一の文具店。娘さんは諸塚村の貴重な食事の店「創香」を経営しています。

やまの声 世話人 田丸悦子

素直であいさつも立派に出来る良い子供達でした。料理では包丁の使い方、揚げ物も大変上手でした。これをきっかけに、しいたけがとても美味しい食材だとわかってもらえたら良いなと思います。



ずいぶん山の中の村だなと思ったことでしょうか、みんなが泊まったところより、もっともっと山奥にも家があって、そこにも子供達が住んでいます。冬はまだ暗いうちから通学してきます。山に住む村民みんなで、大切な森を守っているのです。次の機会には、そんなことも話してあげたいなと思います。

## 諸塚を食べる！(26) むかご

10月28日の黒岳もみじ祭りは、全国的に紅葉が遅れ気味で心配されたのですが、直前の冷え込みもあってか、高いところは程よく色づき、登山者を楽しませてくれました。今週あたりが紅葉の最盛期の様です。

先日、宮崎と延岡の約120名の小学5年生が森のエコスクールで諸塚にやってきました。

やましぎの杜に泊まった子ども達は、たくさんの零余子(むかご)を採ってきました。今年は零余子が豊作の様です。収穫物はもちろん、かまどで《むかごご飯》にして食べました。

そう、今月の主役は「むかご」。やまいもの葉の付け根にできる球芽のことです。やまいもの仲間は世界に600種類以上もあり、中国大陸が原産で日本にも古くからあったようです。その中でも、山野に自生している自然薯(じねんじょ)のつるになる実を「むかご」といいます。この小さな「むかご」には山芋の香りとコクと栄養分がぎっしり詰まっています。子孫を残すために、つるにはたくさんついています。一つのつるで大小合わせて100個以上はできるそうです。この「むかご」、小さくて採るのが大変そうですね。ここで先人の知恵を拝借！傘を広げて逆さに持ち、つるの下に構え、つるを揺らしてみてください。採れる！採れる！

むかごの思い出では……。小さい頃、この時期になると必ず《零余子ご飯》が食卓に上がっていました。明治生まれのばあちゃんが「からだにええとぞ！」とよく炊いてくれていました。しかし、美味しい！と思って食べた記憶は、ない私です。

さて、食べ方はいろいろですが、焼いて、炒って、炊いてと多種多様です。みそ汁の具にしてもいいとか。先日の宮崎市のアンテナショップ「海幸・山幸」秋の大収穫祭には、たくさんの「むかご」が並んでいて大盛況でした。買われた皆さんはどのように食されたのでしょうか？

そういえば数年前、親戚のおばさんからもらったお弁当に、爪楊枝にさしたものが入っていました。秋の演出が弁当にも！ちょっと感動した弁当でした。みなさんも、秋の味覚「むかご」を楽しんでみませんか？(聖)



すずなりのむかご

## マメ知識 ~ 驚きの効能！

「むかご」の効能というか「自然薯(じねんじょ)」の効能です。強壮、強精薬として、胃を丈夫にします。慢性の下痢などにも効果があります。消化酵素が多く含まれているので生食もおすすめです。

疲れがでたら、山芋に元気をもらいましょう！

## トピックス：「森のエコスクール」延岡市恒富小からのお便り

平成19年10月17日（水）～19日（金）

諸塚を舞台に、農林業を中心に生の山村での生活を宿泊体験する「森のスクール」には、延岡市の恒富小学校の5年生も参加しました。

先日、参加した児童の皆さんからのお便りが届きました。

恒富小学校の皆さんは、今年で4回目です。卒業生はみんな諸塚に来ていますし、地元の世話人の方達や畜産センターの牛たちも、みんなとの出会いを楽しみにしています。

～子供達の作文から～

T君「...ぼくは牛にさわったのは初めてで、最初はこわかったり、けったりしてくると思ったけど、ブラッシングをしたり、えさをあげたりしているうちに、牛がかわいいように思いました。牛をさわったら牛があたたかかったです。えさをあげていたら牛がすごいきおいでえさを食べていました。...」

Nさん「...飯干地区をまわって、あらためて自然のすばらしさを実感しました。竹で竹笛などが出来るなんて初めて知りました。竹笛は、とてもいい音が鳴るので私は大好きです。いつも家でふいています。たくさん自然のことを教えてもらってありがとうございました。」



## イベント情報

### 諸塚の祭り(26)エコツアー

諸塚村のオリジナルな地域資源を舞台に開講するニュータイプの体験観光エコツアー「諸塚でやま学校しよう!」。学校に行ったフリして山で遊ぶ"やま学校"は、昔は皆?経験していた様です。

四季折々の森の体験講座と、山の幸の食体験、そして村内各集落を回り、祭りや文化や人に触れる「やま学校特別講座」と盛りだくさんです。やま学校のベテラン名教授?の指導のもと、楽しい森の体験に汗を流し、村人と語り、山の幸を生かした料理に舌鼓を打つ。懐かしい五右衛門風呂に入り、朝は、小鳥のさえずりで目を覚まし、かまどで炊いたご飯をいただく。

今回は、今年最後締めの大忘年会もあります。さあみなさん、集落の元気なおじちゃん、おばちゃんに会えるやま学校に行こう!

<第78回11月期生募集中!>

平成19年11月24日(土)~25日(日)

森の体験講座 そば脱穀体験

食体験講座 楽しい!

10割蕎麦打ち講座と大忘年会

やま学校講座 藁とかづら細工講座

参加費 5,500円/人(1泊3食付)

3歳児以上中学生以下 4,500円

3歳児未満:無料

日帰り 2,500円/人(体験料と昼食夕食含む)

定員 15名(先着順)

締切平成19年11月20日(火)

連絡先 諸塚村観光協会(しいたけの館21)

0982-65-0178

### 【11月の予定】

11月3日 諸塚村産直住宅

宮崎県延岡市U邸上棟

11月4日 第30回宮崎県育林祭

11月7~8日視察(JICA)

11月17日

第4回駄賃付け唄全国大会

11月18日

第58回諸塚村民文化祭

11月21日視察(福岡県黒木町)

11月22日調査(国土交通省)

11月24~25日 第77回エコツアー

「諸塚村でやま学校しよう!」

宮崎県東臼杵郡諸塚村大字家代3068

しいたけの館21内諸塚村観光協会

0982-65-0178

Fax0982-65-0189

e-mail ecom@vill.morotsuka.miyazaki.jp



みんなでそばの脱穀です

## 編集後記

先日、とても良い天気に応縁倶楽部の会員Mさん家族が、大豆畑・そば畑の見学と黒岳登山にやってきました。3人のお子さんが山に慣れていてびっくりでした。もしかしたらうちの子供達より山の過ごし方知っているかと思った次第です。黒岳の頂上で食べたごちそうはいかがでしたか?私も子ども達とそうやって過ごしたいなと思った一日でした。(聖)福岡のU様のご自宅に久しぶりに



おじゃましました。2人のお子さんを木の家で育てたいと、諸塚村産直住宅の家づくりをされたのですが、新しい家で3人目の男の子が生まれたそうです。おかしなもので、自分の子どもが出来たようなうれしい気持ちでした。おめでとうございます。(矢)



Presented by 諸塚村観光協会  
「まちむら応縁倶楽部」